

第397回 番組審議会

1. 日 時 平成17年3月15日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 14名

出席委員 9名

出席委員	委員長	藤元 隆一
	副委員長	澤田 博司
	委員	堀内 三郎
	委員	和田 利彦
	委員	高橋 三男
	委員	久郷 和美
	委員	岡田 知嗣
	委員	帷子 利明
	委員	千葉 則茂

欠席委員	委員	山本 玲子
	委員	重石 晃子
	委員	梅村 俊男
	委員	野崎 信一
	委員	西郷 喜代子

社側出席者	中野 士朗 (代表取締役社長)
	横山 尹浩 (専務取締役) 報道・制作・技術・ 広報・番組審議会担当
	阿部 孝夫 (常務取締役事業局長) 事業担当
	高橋 甫和 (取締役技術局長) 対イ戦略担当
	村田 憲正 (役員待遇報道局長)
	鈴木 直志 (報道局専任局長)

事務局	青山 尚之 (編成局長) 番組審議会事務局長
	八重樫雅弘 (編成局編成部主任)

4. 議 題

1. 「報道特別番組 大学とはなんだ」

平成 17 年 3 月 6 日（日）午後 2 時 00 分～2 時 55 分

2. その他ご覧になった番組についてのご意見

5. 議事の概要

岩手県立大学の学長である西沢氏が 4 月から開校する首都大学東京の学長に就任する。この番組では両公立大学の最高責任者である石原都知事と増田知事、西沢学長の「教育」に関する討論を月尾東大教授の進行で聞く。委員からはもっと教育について深い議論が必要である事や、学生である若者たちの意見を聞くよう意見がだされた。

6. 審議内容

別紙のとおり

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特記事項はないが、キー局及び関係局、関連部署に議事録を配布するなど、関係者に審議の内容を伝えた。

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合における

その公表の内容、方法及び年月日

- ・ 自社制作番組「あなたと歩むテレビ岩手」

(平成 17 年 3 月 24 日(火)午前 11 時 50 分～11 時 57 分放送)で、審議の概要を放送。

・

- ・ 支社・支局に議事録を設置
- ・ 当社のインターネットのホームページで議事録を公開。

9. その他の参考資料

資料として以下のものを配布

- ・ 視聴者からのご意見

議事の内容

- 事務局 定刻になりましたので審議会を始めます。
本日の議題は、3月6日に放送した、「大学とはなんだ」に、なっております。委員の皆様には事前にVTRテープをお送りしています。
それでは、委員長、宜しくお願いします。
- 委員長 今日の議題は報道特別番組「大学とはなんだ」です。
宜しくお願いします。
- 委員 出演者の顔ぶれがこれまでの報道番組と同じで話題に新鮮さがありません。月尾先生の進行に沿って話題が進まない点も気になりました。地代に応じて必要とされる人材が変わってくると思いますが、今、どのような人材が求められているのかはっきりさせて議論をした方が良いと思いました。学長レベルの話だけではなく、掘下げた現場レベルでの話が必要であるとも感じました。
- 委員 出席した石原慎太郎東京都知事は話の切り口が上手だと感じました。人をひきつける話術があると思いました。教育を“上”の人たちだけで考え、与えるものであるという考えが少し見えてきましたが、時代状況で変わっていくものであり、若者たちの意見も聞いてみたかったです。
- 委員 対談形式の番組として、石原都知事の出演は評価できる。「大学とはなんだ」という挑戦的な番組タイトルであったが閉鎖的なスタジオで議論が行われている点が気になりました。場を和らげる雰囲気作りをして、話を掘下げる方向に進んで欲しかったです。
- 委員 茶の間で教育を考えるのに丁度良いテーマでした。石原氏が入るだけでも雰囲気が変わりました。構成も良いテンポで流れていると感じました。
- 委員 番組のタイトルから、何が出てくるか期待しました。構成が良かったためか、最後まで見る事が出来ました。しかし、内容的にはこれといったものを感じませんでした。
- 委員 大きなテーマであり、関心も高い内容のため、期待して番組を見ましたが、一言で言えば期待はずれの番組でした。
- 委員 教育とは切り口が広範にあるテーマです高校教育の荒廃という話題も出ましたが、その部分をもっと詳しく聞いて見たかったです。岩手県立大学は先生と教師の関係が深いという事を聞いた事がありますが、その点をもっと深めて欲しかったです。
- 委員長 予想通りいろいろな意見が出ました。社側からご説明をお願いします。
- 社側 両公立大学の最高責任者である、石原都知事と増田知事、それに西沢氏、月尾を交えた番組です。岩手と東京の相互交流の促進になればと考えました。
- 委員 趣旨は理解できましたがタイトルがあまり良くなかったのでは？
- 社側 タイトルには視聴者をひきつける要素もあります。

委員 若い学生たちの声を入れた方が良かったのではないか、という意見もありましたが。

社側 まだ改稿していない首都大と県立大とのバランスを考えました。

委員長 それでは、事務局にお返しします。

事務局 次回の番組審議会は、4月19日火曜日に開催いたしますのでよろしくお願い致します。以上で番組審議会を終了いたします。